



市議会議員 砂田喜昭 Tel. 67-4322



参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

党市政策委員長 石山忠義 Tel. 67-3525

党県政対策委員 上田ゆみ子 Tel. 68-2106

石動駅南地区画整理事業

計画変更

石動駅南地区画整理事業の計画変更が7月31日、市議会全員協議会に報告されました。

若干の経費の出入りがありますが、組合が負担する総事業費は1億2200万円減の37億9800万円となります。

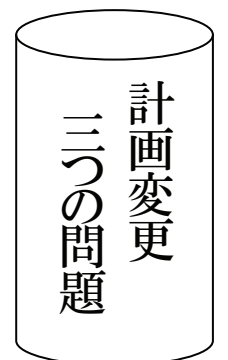
上下水道など

市直接発注

区画整理組合の負担を軽減

その結果、地権者が事業費捻出のために無償で提供する土地(保留地)が少なくなり、当初1万2934㎡を保留地として予定していましたが、約3分の2の8300㎡ですみます。このうち5667㎡が新幹線用地です。保留地が売れ残って何億円もの借金返済が組合員に求められる恐れは小さくなりました。

この事業は、石動駅南地区画整理組合が、2008年6月から2016年3月末までの期間で石動駅南地区14ヘクタールの地区画整理を、総事業費39億2千万円で行う計画でした。主な変更点は、組合が施行する予定だった上下水道、防火水槽などを、小矢部市が直接発注する事業に切り替え、組合の事業費負担を1億6300万円軽くするものです。その他



計画変更
三つの問題

① 市活性化・人口増は空手形だった
今回の計画変更によって、住宅地への売却など市の人口増に活かすとしていた用地が4600㎡も減ります。これまで市はこの区画整理事業の目的として、「小矢部市の活性化、人口増、商業業務機能の強化、都市間競争に勝つ」(2007年3月議会)などをあげてきました。それが単なる空手形に過ぎなかつたことを示しました。

② 上水道料金アップにならないか
計画変更に伴い、上水道の付け替え工事を小矢部市で実施することになりました(8千万円)。砂田市議が「上水道料金の負担に転嫁

③ 県は事務費を何に使うのか

当初案では、保留地を売却できるまで事業資金を借入するため、その金利負担として1億1400万円を見込んでいましたが、保留地売却面積を縮小したので、その金利負担が1200万円と、1億200万円も浮きます。その一方で、事務費を8400万円から1億7000円へと、8600万円も増やしています。当局の説明では、県が指導監督の経費として、その分をもっていくとのことですが、この事務費が実際に何に使われるのか、今後説明が必要で

北陸本線の県境分離はなぜいけないのか

「北陸本線の県境分離は、なぜ、いけないのか」をテーマに、シンポジウムが6月28日、富山市で開かれました。今週号では続報として、報告2「運営会社の経営と県境分離」を紹介し

現在の北陸本線 県境とは無関係に 一体運営

現在の北陸本線では、列車指令、車両基地の配置などの鉄道システムは県境を考慮していません。これを県境分離したらどうなるか、各県、ことに新たな設備投資が増えることも予想されます。

貨物輸送は 日本海側の大動脈 環境対策でも重要

もう一つの問題は鉄道貨物輸送がどうなるかです。県内を通過する貨物列車(金沢・青海新潟間)は約40本あり、通過貨物量は205万トンから213万トンで、県内で発着する貨物量44万トンの約5倍になります。第三セクター鉄道が将来にわたってきちんとルールを維持してくれるのが、物流業者の懸念材料となっています。環境問題を考えると、トラック輸送に比べ、鉄道輸送は優れてい

国の責任で 全国鉄道ネットワークの維持を

渡辺氏は、これまでの住民運動と自治体の協働の運動・取り組みによって、「政府・与党合意が次々と破られていることを指摘し、国の責任で県境をつなぐ全国鉄道ネットワークの維持を求めて粘り強く運動していく」と呼びかけました。

シンポジウム続報 (報告2) 運営会社の経営と県境分離